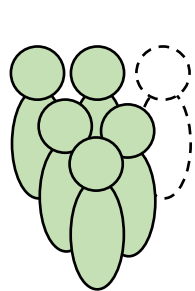




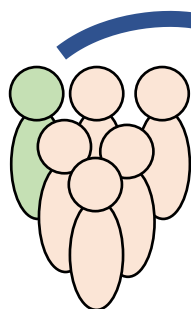
【その2】

## コロナで混乱中の職場現実を無視して…?

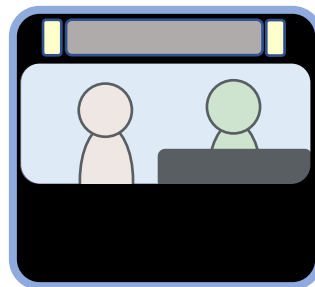
今年6月に鉄道を含めた「公共交通」が、エッセンシャルワーカーとして正式に認定されました。しかし、JR 東日本の実態は…



**要員不足！**



**接触機会の増大！**



**密状態！**

- ・ 職域接種の進捗が遅く、未だワクチンを打っていない社員も！
- ・ ワクチンの副反応で仕事出来ない社員が多く、要員不足！
- ・ この状況下で人事異動を行うことで、接触機会の増加！
- ・ 見習い乗務による密状態の確立！

感染者数は減少傾向となり緊急事態宣言も解除されますが、  
まだまだ警戒が必要な状況に変わりはありません。

公務員や他の企業では…

**コロナ対策を円滑に進めるとともに、感染拡大を防ぐために人事異動を抑制しているところが多い**

**【今のJR東日本は世間と逆行している！】**

コロナ禍の影響で、例年よりも人事異動が減っています。また、エリアをまたぐ異動に関しては特に慎重になっているのが現状です。職場革命を提唱する河野英太郎氏は「理由も明確にわからないのに、本人が望まないキャリアチェンジが前提となる異動計画は、もはや目的を失っている」「個人の事情を鑑みない人権侵害ともいえる異動は全て無くすべきだ」と警鐘を鳴らしています。

**特定の労働組合を狙い撃ちし、弱体化を目指した異動は、もはやジョブローテーションではない！**

**JR東日本の常識は世間の非常識で良いのか？  
命を最優先とした経営判断を求める！**

いながおかつ「システムローテーション」